

日吉小に交通公園が完成 11月30日に落成式



(八日市場警察官の指導で開かれた交通教室)

自転車の安全な乗り方

◎ブレーキのかけ方

一、普通の時のブレーキのかけ方
道路を走っていて、交通法規や交通の様子によって止ったり、徐行したりする時は、ハンドルの左側にある後輪のブレーキのレバーを少しづつ、締めながら右手を斜め下に出し、後ろの車に合図をしましょう。一時停止する時は、乗ったまま足を地面につけて立ち、右足のペダルを斜め前方にまわしておいて、いつでも発進できるようにしておきましょう。



左側にある後輪のブレーキを先にかけられるよう普段から練習しておきましょう。

◎発進する時

自転車に乗る時は、車道(歩道の区別のないところは道路の左端)の左端で自転車にまたがり、右足でペダルを斜め前方にまわしておいて、後方の安全を確かめてから右手を水平に出して、合図をしてから発進しましょう。



◎停止する時

自転車を止める時も、まず後方の安全を確かめ、右手を斜め下に出して合図をしてから、左手で後輪のブレーキをかけながら道路の左端に止りましょう。



◎横断歩道で停止する時

横断歩道に近づいた時は、徐行しながらその手前で停止し、発進の準備をして、歩行者が横断を終

◎交差点で停止する時

交差点は特にあぶないところです。後ろからくる車に停止の合図をして、静かにブレーキをかけながら停止線で止りましょう。



◎右折の仕方

一、信号機のある交差点
交差点の三十メートル手前から左側により、右折の合図をしながら徐行します。信号が黄と赤の時は停止線で止って、信号が青になったら右、左の安全を確かめ、徐行して前方の横断歩道の手前で停止し、自転車の向きをかえ、進む方向の信号が青になってから発進しましょう。

二、信号機のない交差点

交差点の三十メートル手前から左側により、右折の合図をして徐行し、交差点の手前で右、左を見て安全なことを確かめてから、右折の合図をしながら交差点を進み

「昭和四十八年に生徒が交通事故に出会い、交通事故から生徒を守ろうと言うことで、町及び関係各位に強く要望し、ご協力が実ったわけです。」

この交通公園は、すでに完成している南条小学校に次いで、二番目にあたります。

八日市場警察官の正しい道路の歩き方、正しい自転車の乗り方などの注意のあと、生徒が実際に交通公園の中を歩き、また、自転車に乗って、交通教室が行なわれました。

(金谷校長談)

この交通公園の完成によって、登校、下校の生徒に正しい道路の歩き方などを指導していく方針であります。

また、交通公園の完成にあたっては、父兄のかたがたの勤労奉仕記念樹の寄贈など、いろいろありがとうございました。」